

10 月 定例会 一般質問要旨

1 番目	1 番議員 仲間 光枝 議員 (南城市)
1. 給与誤支給是正処理の進捗状況について	<p>令和3年10月、令和4年2月、令和4年10月と3度の一般質問を通して、是正処理進捗状況や抱える課題等について確認し提案等もしてきましたが、その度に「精査中」「適正に対応したい」との答弁でした。最後の質問から1年経過しましたが、経過説明も十分に行われなかったため、これまでの説明の再確認含め以下伺います。</p> <p>①精査の結果（過大と過小それぞれの人数及び金額） ②遡及起点日と遡及期間 ③過小支給者のうち、遡及期間の確定により支給ゼロになる職員数 ④過小支給者のうち、遡及期間確定により消滅する最高額と平均額 ⑤過大支給者のうち、遡及期間確定により返還ゼロになる職員数 ⑥過大支給者のうち、遡及期間確定で算出された最高額と平均額 ⑦それぞれの処理方針（一括 or 分割、手続き・方法等） ⑧職員への説明と結果に対する同意の状況 ⑨同意を得られない場合の対応 ⑩職員から挙げた要望や意見</p>
2. 地方公務員定年引上げに伴い想定される課題と対策について	<p>消防職員を含む地方公務員の定年が今年度から段階的に引上げられ、令和13年度以降65歳定年となりますが、消防特有の課題については専門家チームによる研究・検討がなされ、その結果報告が消防庁ホームページにも掲載されています。</p> <p>その報告内容を踏まえ、当消防の課題対応への見解について以下伺います。</p> <p>1、高齢期職員の適材適所についての考え方 ①体力や健康面において ②キャリアパス形成への取り組み ③役職定年制による配置課題と方針・条例の平明説明</p> <p>2、採用及び定員管理等についての考え方 ①13年度までは、2年に1度1歳ずつ引上げとなることで定年退職が隔年となる影響と対策 ②定年前再任用短時間勤務制希望者への対応課題</p>

10 月定例会一般質問要旨

	<p>③多様な働き方が拡充される影響と組織の活力を維持するため取り組むべきこと</p> <p>3、財政上の課題</p>
財政課題について	<p>2008年3月策定の県域1ブロックとする消防広域計画は、財政負担を懸念する意見等が出たことを理由に断念されました。2021年に計画を再策定し、まずは2031年度をめどに中・南部2つのブロックの広域化を推進していくとのことですが、その間も自助努力によって複雑多様化する災害、救急救命活動を担っていくことに変わりはありません。</p> <p>消防力の強化、拡充には財政面でのバックアップは必要不可欠であることから、現状と課題を詳らかにするために以下伺います。</p> <p>①直近の財政調整基金残高とその他基金残高</p> <p>②今後見込まれる高額支出（短期、中期、長期別）</p> <p>③消防費に係る基準財政需要額の算定方法と直近3年の算定金額</p> <p>④消防費基準財政需要額に対する構成市町負担金割合（直近3年分）</p>

10 月定例会一般質問要旨

2 番目	3 番議員 森山 悟 議員 (南城市)
1. 人員適正化について	<p>南城市・八重瀬町の人口は、毎年増えている状況の中、市民・町民の安心・安全・財産を守る責務を持っているのが、島尻消防組合だと認識しますが、今後人員適正化に向けての計画について伺う。</p> <p>①南城市、八重瀬町の人口の推移について伺う。</p> <p>②今後の島尻消防組合の人員適正化に向けての取り組みについて伺う。</p>
2. 八重瀬出張所の施設について伺う	<p>令和5年8月25日に八重瀬出張所落成式が盛大に開催され、地域住民の安心・安全の確保に大きな役割を果たす施設だと考え以下について伺う。</p> <p>施設の運用状況について伺う。</p>
3. 今後の住宅火災・車両火災の対応について伺う。	<p>近年住宅火災・車両火災の件数が全国的に増えている傾向があります。南城市・八重瀬町、島尻消防管内での今後の対応について伺う。</p> <p>①南城市・八重瀬町での住宅火災・車両火災の直近の状況について伺う。</p> <p>②今後の対策・今後の計画について伺う。</p>

10月定例会一般質問要旨

3番目	2番議員 宮城 勝也 議員（八重瀬町）
1．個人情報 の取り扱いについて	(1) 当組合が取り扱う個人情報とはどのようなものか。 (2) これらの個人情報はどのように管理、保護されているか。
2．八重瀬 出張所開所 後の体制に ついて	(1) 管轄地域について何う。 (2) 職員配置状況について何う。 (3) 消防車両、消防機器等の配置状況について何う。
3．違反對 象物公表制 度について	(1) 当組合における同制度の運用状況について何う。